

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 2023年11月1日～2024年10月31日



株式会社景泉機器

2024年11月22日発行



®環境省

エコアクション21

認証番号0006523

【目 次】

【1】組織の概要

【2】対象範囲

【3】環境経営方針

【4】環境経営目標とその実績

【5】環境経営計画の実績・取組結果とその評価

【6】次年度の環境経営目標及び環境経営計画

**【7】環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果,
並びに違反,訴訟などの有無**

【8】代表者による全体の評価と見直し・指示

【9】その他の活動

【1】組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 景泉機器

代表取締役社長 落合 一雅

(2) 所在地

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-4-4

(3) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境経営管理責任者 落合 正浩

担当者(事務局) 渡邊 夏菜子

連絡先 電話 045-783-5558

FAX 045-783-5578

e-mail kanako-w@keisenkiki.com

油・空圧シリンダー・精密機器の製造

(4) 事業活動の内容

(5) 事業の規模

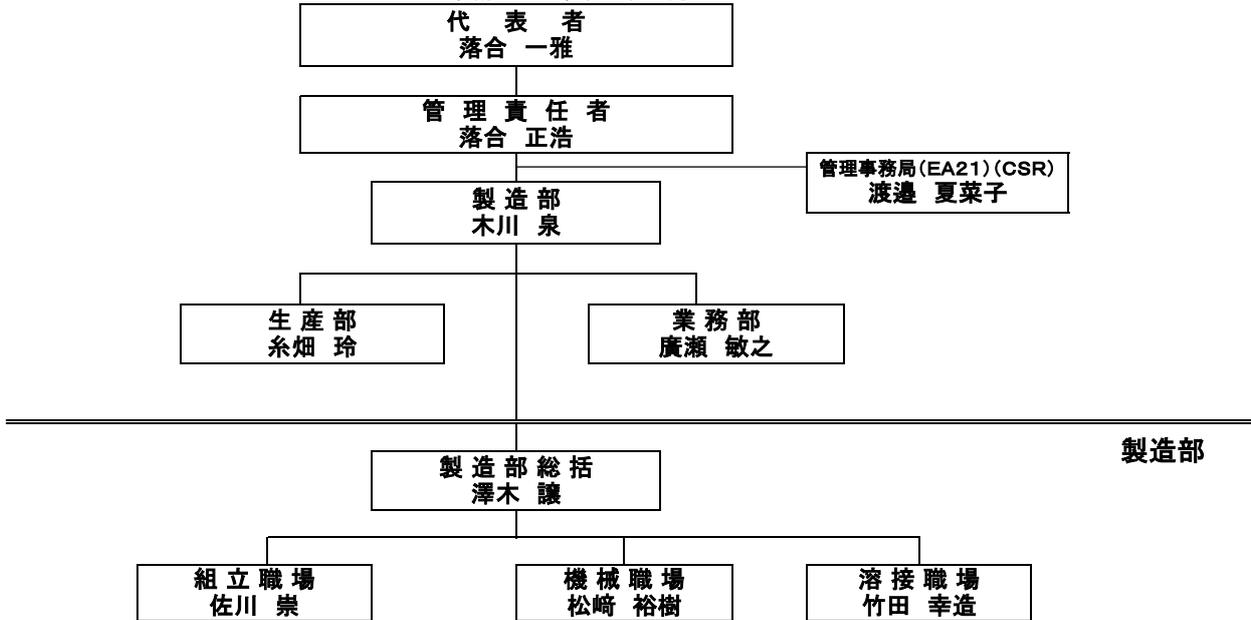
活動規模	単位	2008年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
主要製品生産量	本	6,517	21,552	18,260	14,484	12,853	11,689	17,517	
従業員数	人	26	37	34	33	35	31	34	
延床面積	m2	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	

(注) 年度は11月/10月

【2】対象範囲

- (1) 認証・登録対象組織
株式会社 景泉機器
- (2) 認証・登録対象活動
油・空圧シリンダー・精密機器の製造

マネージメントシステム 組織図 設定日 平成29年11月1日
改訂日 令和6年11月1日



役割・責任・権限

代表者	① 環境経営に関する統括責任者
	② 環境方針の制定・従業員への周知
	③ 環境管理責任者・事務局の任命
	④ 環境経営システムの実施・運用に必要な資源(人材・資金・機器)の準備
	⑤ 環境経営システムの評価・全体的な見直し(年1回)
	⑥ 環境管理実施体制の設定
	⑦ 環境活動レポートの承認
	⑧ 環境経営に関する責任者
	⑨ 環境関連法令類の承認
	⑩ 環境活動目標設定結果、環境目標・環境活動計画の承認
	⑪ 緊急事態の対応責任者
環境管理責任者	① 環境経営システムの構築・運用
	② 環境経営システムの運用実績の代表者への報告
	③ 環境活動目標設定結果、環境目標・環境活動計画の審査
	④ 環境目標・環境活動の進捗確認と修正の指示
	⑤ 環境関連法令類の調査、順守管理表の作成
	⑥ 環境教育・訓練の計画表の作成と実施
	⑦ 外部コミュニケーションの窓口
	⑧ 緊急事態の訓練実施(全社に共通するもの)
	⑨ 是正と予防措置の承認
	⑩ 環境文書類の承認
(EA21・CSR)	① 環境管理責任者の補佐役
	② データの集計作業
	③ 環境経営目標及び環境経営計画の策定
	④ 内部監査年度計画表の策定
	⑤ 教育訓練・目標計画の策定
	⑥ 環境経営システム運用の推進
	⑦ 環境負担と原因となる活動の特定
	⑧ 各種報告書の作成
	⑨ 環境活動レポートの作成・公開
	⑩ 条例・法令の管理
	⑪ 文書及び記録の管理
各部門長	① 部門別の環境活動の推進
	② 部門別の手順書、作業指導書の作成
	③ 部門別の教育、訓練の実施
	④ 内部コミュニケーションの管理
	⑤ 緊急事態の準備および対応実施(特定のもの)
	⑥ 部門別の是正、予防処置

主要設備一覧

種別	型式	メーカー	台数
旋盤	MS850G型	森精機	1台
旋盤	MS1000G型	森精機	1台
旋盤	TAL560×2500型	滝沢鉄工	1台
NC旋盤	LB-4000EX	オークマ	1台
NC旋盤	LB-2500EX (ガントリーローダ)	オークマ	1台
NC旋盤	TL-40B 3000型	森精機	1台
NC旋盤	TL-40B 4000型	森精機	1台
NC旋盤	NLX2500MC/1250型	森精機	1台
NC旋盤	TF25型	日立精機	1台
NC旋盤	TG25型	日立精機	1台
NC旋盤	チューブ専用加工機1136型	HORIBE	1台
ターニングセンタ	SL-25Y型	森精機	1台
縦型マシニングセンタ	FRONTIER-M1	森精機	1台
縦型マシニングセンタ	MB-56VB型	オークマ	1台
横型マシニングセンタ	MA-500HB型	オークマ	1台
NCフライス	FMV-30型	大隈豊和	1台
横フライス盤	HE2型	遠州製作	1台
形削機	650ℓ		
スカイビング	3mローラーバニシング	関西製作	1台
スカイビング	5.5mローラーバニシング	テクノ河原	1台
立型ホーニング	120×800L		
直立ボール盤	20インチ	篠原製作	2台
ダッピング直立ボール盤	AUD500型	芦名製作	1台
卓上タッパボール	MUDTS500	ミクニ	1台
タッピングボール盤	B-25YC型	日立精工	2台
各種卓上ボール盤	各種メーカー		6台
NC全自動鋸盤	(300mm)	アマダ	1台
NC全自動鋸盤	(250mm)	アマダ	1台
高速切断機		ニシムラ	1台
コンターマシン	300型	ラクソー	1台
CO2溶接ロボット	350L	ダイヘン	1台
CO2溶接機	350L	パナソニック	6台
アーク溶接機	300kw	ダイデン	3台
シリンダ洗浄機(自社製)			
シリンダ試験耐圧機		不二越	2台
その他仕上げ設備及び検査用機器各種油圧用油検査機			1台
動力コンプレッサー	7.5kw	三井精機	3台

【3】環境経営方針

環境経営方針

—基本理念—

株式会社 景泉機器は地球環境の保全が、人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、相互コミュニケーションの徹底を図り、全従業員一丸となって環境負荷の低減に努力します。

—行動指針—

当社は、各種シリンダー加工に係わる全ての活動及び、製品の環境影響を低減するために、以下の方針に基づき、環境マネジメント活動を推進し、地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動及び製品に係わる環境影響を認識し、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動及び製品に係わる環境関連の法規類を順守します。
3. 当社の活動及び製品に係わる環境影響のうち以下の項目を環境管理重点テーマとします。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 再資源化および廃棄物の削減
 - (3) 排水量の削減
 - (4) 業務の効率向上による省エネ、省資源化
 - (5) グリーン商品の購入に努めます
 - (6) 化学物質の適正管理に努めます
 - (7) 職場、設備の整理、整頓、清掃ならびに工場周辺の清掃の実施
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知すると共に社外へも環境活動レポートを作成し公表します。

上記の方針達成のため、目標を設定し定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 平成22年9月1日

改訂日 平成30年11月1日

株式会社 景泉機器

代表取締役社長 落合 一雅

【4】環境経営目標とその実績

年度目標及び中期目標

環境経営目標		基準(実績)	年度目標	中期目標		
		2022年度 (通年)	2023年度 (通年)	2024年度 (通年)	2025年度 (通年)	2026年度 (通年)
二酸化炭素 排出量の削減	1. 電力使用量削減	(生産量当り) 20.3kWh/本 (10.8kg-CO ₂ /本)	20.1kWh/本 (10.7kg-CO ₂ /本)	2%削減 19.9kWh/本 (10.6kg-CO ₂ /本)	3%削減 19.5kWh/本 (10.5kg-CO ₂ /本)	4%削減 19.3kWh/本 (10.4kg-CO ₂ /本)
	2. ガソリンの燃費向上	10.94km/L	11.04km/L	2%向上 11.15km/L	3%向上 11.37km/L	4%向上 11.48km/L
3.CO2排出量		105384kg-co2 (2022年度基準)	104330kg-co2	2%削減 103276kg-co2	3%削減 102223kg-co2	4%削減 101169kg-co2
4. 廃棄物の削減		13118kg	12987kg/年	2%低減 12727kg/年	3%低減 12597kg/年	4%低減 12468kg/年
5. 水資源投入量の削減		491m ³	486m ³ /年	2%削減 482m ³ /年	3%削減 471m ³ /年	4%削減 467m ³ /年
6. 業務の効率向上 (作業手順書の作成)		1製品/年	1製品/年	1製品/年	1製品/年	1製品/年
7. グリーン購入 (事務用品) エコ品目/全品目		20/20品目	20/20品目	20/20品目	20/20品目	20/20品目
8. 化学物質 使用量の把握		適正管理 適正保管量・保管庫利用	適正管理 適正保管量、保管庫利用	適正管理 (同左)	適正管理 (同左)	適正管理 (同左)
9. 4Sの実施		1件/3ヶ月	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月
10. 製品及び サービス						
① 梱包の通い箱化		2製品/年	2製品/年	2製品/年	2製品/年	2製品/年
② トラックの 計画的配車 (臨時便の削減)		20%	20%	20%	20%	20%

	使用量		CO2排出量
電力	237,886	kwh	105383.5
ガソリン	3,779	L	8767.3
軽油	2,487	L	6515.9
灯油	6,750	L	16807.5
総量	-	-	137474.2

(注) 1) 通年は11月/10月を意味する

2) 東京電力使用に伴う二酸化炭素実排出係数 0.443kgCO₂/kWh (令和4年度)

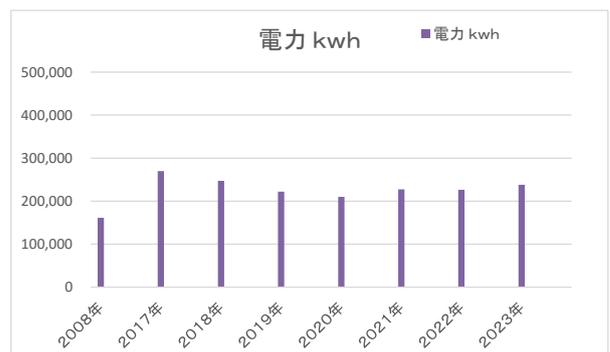
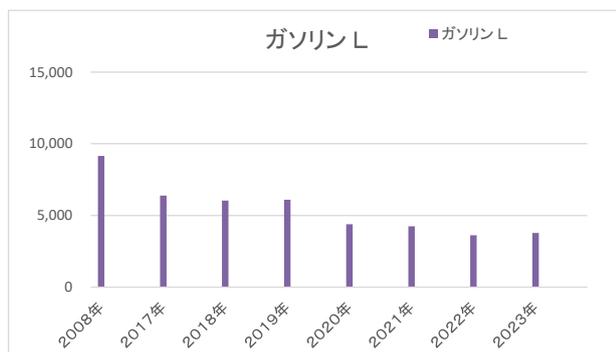
3) ガソリン使用に伴う二酸化炭素排出係数 34.6MJ/L × 0.0671kg-CO₂/MJ = 2.32 kg-CO₂/L

4) 軽油使用に伴う二酸化炭素排出係数 38.2MJ/L × 0.0687kg-co₂/MJ=2.62kg/L

5) 灯油使用に伴う二酸化炭素排出係数 36.7MJ/L × 0.0679kg/co₂/MJ=2.49 kg/L

・電力、ガソリン、軽油、灯油の使用実績表

		2008年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
電力	kwh	161,388	269,842	247,378	221,912	210,034	227,511	226,667	237,886	
ガソリン	L	9,155	6,389	6,041	6,092	4,388	4,246	3,618	3,779	
軽油	L		2,419	2,970	3,203	2,068	2,960	3,355	2,487	
灯油	L		4,628	10,902	7,562	6,176	6,097	6,871	6,750	



【5】環境経営計画の実績・取組結果とその評価

○：目標達成、×：目標未達

環境活動計画		取組結果の評価(2023年11月～2024年10月)			
		環境目標	実績	達成区分	評価
二酸化炭素 排出量の削減	1. 電力使用量削減 ・使用しない設備の主電源off ・エアコンの温度管理 ・作業の効率向上	基準年比1%削減 20.3→20.1kwh/本 (10.7kg-CO2/本)	12.0kWh/本 (6.38kg-CO2/本)	○	今年10月にLED化をすべて行う事が出来ました。これによる電力使用量削減効果が、来年度見れることを期待していきたいです。今年度については、夏場の気温がかなり高く、冷房使用が多かったため、かなりの電気使用量でしたが、その他使用しない電気を切る事など、こまめな活動が、功を奏してかなり抑えることが出来たと思います。
	2. 燃費向上 (ガソリンの削減) ・エコドライブの徹底	調査月比2%向上 10.94→11.04km/L	11.4km/L 走行距離→ 3779.5km ガソリン削減 →161.2L (374kg-co2)	○	会社車両の更新がないと、今後の燃費向上は難しくなると思う為、目標値についても今後考えていきたいと思っています。
	3. 廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底 一般廃棄物+特別産業廃棄物	112618kg	6325g	○	本年度は、ごみの分別もしっかりと対応が出来た為、産業廃棄物としてのごみ自体も削減することが出来ました。
	4. 水資源投入量削減 ・節水表示の貼り出し	基準年比1%削減 491→486m ³	393m ³	○	水使用量をしっかりと管理をすることが出来ていると思います。
	5. 業務の効率向上 ・作業手順書の作成	1製品/年	1製品/年 シリンダ (07-0100) (mat-01e)	○	今年度より、新規顧客となった会社からの受注品も含めて受注開始より手順書を作成して対応をすることが出来ました。
	6. グリーン購入 (事務用品) エコ品目/全品目	20/20品目	20/20品目 (事務用品関連)	○	毎回購入するときに、グリーン商品がある事を確認する癖がしっかりと身につけていると思います。
	7. 化学物質の把握	適正管理	適正管理 (適正保管量、 保管庫設置)	○	使用する以上に化学物質を購入して保管しないようにできましたと思います。
	8. 4Sの実施	3ヶ月毎に 4S対象を増やす	・素材 整理整頓 ・在庫部品 整理 ・不良品整理	○	今回は、会社の倉庫を更新するという大きな事を実施してきました。また社内在庫もかなり絞る事が出来たと思います。
	9. 製品及びサービス ① 梱包の通い箱化	通箱化	8製品	○	今回は、段ボール箱→通い箱に変更をすることが出来ました。またその他段ボール納入をなくすことにも成功しました。
	② トラックの配車数を計画通りにし、臨時便を削減する	臨時便20%以下	0%	○	生産数量も少ない事もあり、臨時便での納入は0件でした。

【6】次年度の環境経営目標及び環境経営計画

具体的な取り組み内容を以下に示します。

- (1) 電力使用量削減
 - ① 空調機の適正温度設定、利用時間の規制、定期的な清掃
 - ② 空調機の退社前の電源スイッチ切断
 - ③ 設備・機器の未稼働時の切断、節電、準備時間の短縮
 - ④ OA機器の節電管理
 - ⑤ 不要の照明消灯
 - ⑥ クールビズ、ウォームビズの奨励
 - ⑦ 作業の効率向上
- (2) ガソリンの削減
 - ① 燃費の向上
 - ・エコドライブの実施
 - ・エコドライブ手順書の周知、フォロー
 - ② 適正な車両整備
- (3) 廃棄物総排出量削減
 - ① 両面コピー、裏面コピーの徹底
 - ② 可燃ごみの分別回収による資源化
 - ③ ペーパーレス化
 - ④ 金属くずのリサイクル化推進
- (4) 水資源投入量削減
 - ① 日常の節水（朝礼等でのPR）
 - ② 節水表示の設置
- (5) 事業活動に関する取組み
 - ① 業務の効率向上（手順書の作成）
- (6) グリーン購入（事務用品）
- (7) 化学物質使用量の把握
 - ① シンナー使用量の適正管理
- (8) 4Sの導入
- (9) 製品及びサービスにおける環境配慮
 - ① 不良率の低減
 - ② 梱包の通い箱化
 - ③ トラックの配車数を計画通りにし臨時便を削減する

【7】環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反,訴訟などの有無適用される主な環境関連法規等は次の通りである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
騒音規制法	空気圧縮機 (7.5kw)
振動規制法	空気圧縮機 (7.5kw)
横浜市生活環境の保全等に関する条例	・同上 ・別表第4 (キシレン・トルエン規制基準) 指定施設から出るもの 塗装施設
廃棄物処理法	廃棄物
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処置等に関する条例	廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理
消防法	少量危険物倉庫 (シンナー、塗料、灯油)
横浜市火災予防条例	同上
毒物・劇物取締法	塗料吸引規制
化管法 (PRTR法)	適用外 (製品にPRTR物質が含まれているが使用量が少ない)
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検
水質汚濁防止法	新設/変更時に横浜市長へ届出の提出。

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去4年間ありません。

【8】代表者による全体の評価と見直し・指示

総合的判断 からの 見直しの有無	環境経営方針	見直し	有	・	(無)	備考
	環境経営目標及び環境経営計画	見直し	有	・	(無)	備考
	実施体制	見直し	有	・	(無)	備考
	その他	見直し	有	・	(無)	備考
評価 (代表者)	毎年、この時期に見直しをしているが、それは適正な事なのか？少し疑問に思う。 また、当初から決めてきた目標値1パーセント低減だが、緩いものもあり、また厳しいものも出てきているので目標値をもう一度再検討をするべきではないか？ 削減するだけが目標ではなく、維持するという目標もいいのではないか？					
見直し結果 (代表者)	エコアクション21の審査員にも意見を仰いで、最終判断としたらどうか？ 厳しい目標値については、しっかりと変更をして、達成を出来るものにしたらどうか？					

指摘・意見(代表者)

指摘内容	改善責任者	期限	改善内容	承認
社員の自己啓発教育	木川		外部からの講師を招き、現状に合った教育をする	社長
現状の目標の見直し	落合		項目追加された部分の目標及び設定値の整合性を図る	社長

(回覧ルート) 代表者→環境管理責任者→関係者招集(改善責任者欄及び期限記入)→環境管理責任者
(改善内容フォロー)(会議開催)→代表(承認)→環境管理責任者(コピー)→代表者及び関係部門へ配布

【9】その他の活動

・産業連絡協議会による年1回の金沢工業団地一斉清掃

実施日 2024/11/13



・機械組合による月1回の一斉清掃・美化活動

実施日 2024/10/16



・お馬流し

実施日 2024/8/4

